

2022年9月6日

各位

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会  
「航空宇宙システムのダイナミクスとデザイン」  
代表 下村 卓

## 日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会開催のご案内

2022年度の第2回研究会を以下のように開催させていただきます。

昨年出版された『新・航空機産業のすべてー「空飛ぶクルマ」から次期ステルス戦闘機までー』（日経BP）の著者である中村洋明氏に、アフターコロナの航空機産業についてご講演いただきます。

ご多忙のことと存じますが、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 記

#### 2022年度 第2回研究会

日時：2022年11月18日(金) 15:00～16:30

会場：大阪公立大学大学院 工学研究科 B6棟 105教室

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

<https://www.omu.ac.jp/about/campus/nakamozu/>

講演：「アフターコロナの航空機産業」ー「脱炭素」に向けてー

大阪公立大学客員教授

技術経営研究家、航空機産業アドバイザー

（英国法人 Silicon Sensing Systems Ltd. 元取締役会長

住友精密工業株式会社 元専務取締役）

中村洋明氏

#### 講演概要：

周知のように世界の航空機産業界はコロナ禍の影響により極めて大きなダメージを受けたが、今は急速に回復しつつあり、やがて再び安定成長路線に戻ると予測されている。また、コロナ禍の克服と軌を一にするような形で、これからの航空機産業界は一種地殻変動に見舞われると見てよい状況にある。大きな変動の一つは、従来のカテゴリーの航空機に対してコロナ禍前から進展してきた電動化などの動きが本格的になることである。もう一つの変動は、「空飛ぶクルマ」など多くの航空機が新しい顔触れとして本格的に登場することである。これらの動きは航空機産業の幅を広げ規模を拡大することを意味する。また、従来の顔触れと新しい顔触れの多くに共通するキーワードは「脱炭素」である。本研究分科会では、上述の内容について述べる。

参加費：無料      どなたでも参加いただけます。